

## 令和 5 年度事業計画(案)

当連盟は、令和 4 年（2022年）11月15日に、創立50周年記念式典を盛大に開催し、多くの来賓および会員の皆様から、連盟に対する賛辞を聞くことができた。1971年に新しい業態として安心・安全・低廉をコンセプトとしてビジネスホテル協会として設立し、新しい業態であるが故に、その商売のやり方の情報交換の場を提供することが協会の主たる存在意義であったが、その後、50年の年月を経て、業態も多様化したことにより、連盟の名称も業態を限った名称でなく包括的な名称が必用となり、ビジネスでもなく、シティでもない全日本ホテル連盟とし、なおかつ自分たちの成長だけを目指すのではなく、国や地域の発展に尽くすことをMVVとして理念に組み入れた。

個人であれ、会社であれ、そして団体であれ、自分が何であり、何を目指し、今、それがどうなっているのかを常に明確にしなければならない。そのため、MVVを策定し、我々の使命は「時代のニーズを捉え、革新性をもって、会員ホテルの価値向上を支援すると共に、観光立国日本の実現と地域の発展に寄与する。」と明文化した。

その冒頭、「時代のニーズを捉え」とあるが、コロナ禍が落ち着いてきている今、我々業界の課題として、観光立国を実現するため人材不足への対応をはじめ、業界の様々な課題解決に対応しなければならない。

令和 5 年度においては、「国づくり」、「会づくり」、「人づくり」、「宿づくり」という4つの柱を立て、それぞれの分野が密接に連携しつつ、以下の事業を行い、MVVに基づく持続可能性を追求していくこととする。

第一に、「国づくり」として、「観光立国実現と地域の発展に寄与するための事業」をテーマに、人口減少傾向にある日本において、インバウンド誘客こそが、観光立国実現の切り札と言われる中、インバウンド委員会が独自の誘客活動を展開するほか、受け入れに際してハラルへの対応等会員向けの研修会を行う。また、地域活性化委員会では、地域の発展への寄与、SDGs推進のミッションを実行するため、タウンミーティングの開催を中心とした事業を行う。

第二に、「会づくり」として、「時代のニーズを捉えた連盟の革新」をテーマに、総務委員会において各種規程の整備やSDGs推進に関連した事業を担当しながら、この連盟の基盤整備を行う。調査・広報委員会は新たに再編する委員会です。これまで4年に1度の大きなアンケート調査を行ってきたが、ネットを活用しながらよりタイムリーかつ必要な調査を行い、会員の意見を集め、国政に伝え、会員に広報する役目を果たして行くこととする。

第三に、「人づくり」として、「日本および地域に新たな風を起こすイノベーターになる人材育成」をテーマとして、当連盟でこれまでも課題となっていた本部委員会活動を担う人材の

発掘と各支部活動に実参加してもらえ会員を増やすために、会員増強委員会を新たに設置することとする。また、青年部では、業界並びに連盟での次世代を担う若手人材育成と若手を中心に互いに切磋琢磨できる場づくりを行うこととする。

第四に、「宿づくり」として、「会員の成長を支援する事業」をテーマとして、連盟活動の中核的な事業である経営者セミナー等を担当する研修委員会では、ZOOM等を活用し小まめでタイムリーなセミナーを提供する。また、ホテル業において女性の活躍が欠かせないことから、ホテル業界で活躍する女性のコミュニケーションの場として女性部を設置することとする。

当連盟は、これらの事業の実施を、本部と支部の連携により、重点的かつ効率的に実施することにより、会員ホテルの成長支援と共に、観光立国の実現と地域の発展をめざしてダイナミックな活動を展開することとする。

### [事業計画の概要]

#### [委員会]

#### 【国づくり】担当業務執行理事 林 孝浩（インバウンド委員会、地域活性化委員会）

##### ○インバウンド委員会（委員長 中原 一輝）

1. 会員ホテルのインバウンドへの取組み等のアンケート調査の実施
2. ムスリムマーケットに対する継続的なプロモーション事業
3. 海外プロモーション事業（地域活性化委員会とジョイント事業）
4. AISO参加活動事業
5. 委員会開催（年間6回）4月、6月、8月、10月、12月、1月

##### ○地域活性化委員会（委員長 藤橋 由希子）

1. SDGs推進事業  
会員ホテルの脱プラ（SDGs推進）と経費削減に寄与するための検討を行う。
2. タウンミーティングサポート  
東北支部で11月に開催予定の「タウンミーティングin北上」のサポート、マニュアル作成を行う。
3. 台湾インターンシップ受け入れサポート
4. 委員会開催（年3回程度。オンライン開催を含む。）

#### 【会づくり】担当業務執行理事 服部 公雄（総務委員会、調査・広報委員会）

##### ○調査・広報委員会（委員長 江本 清東）

「2022年アンケート調査の分析」、「データベース活用による小アンケート実施」

1. 客室利用率調査、客室料金調査の継続実施  
①客室利用率調査 毎月、本部にて実施

②客室料金調査

2. 委員会の開催（4回）6月、9月、12月、3月
  - ・4年に一度のアンケート実行に関する考察・議論
  - ・アンケート内容の分析及び、会員が活用できる形の検討
  - ・データベースの活用・維持管理

○総務委員会（長谷川 智英）

1. 連盟定款から規約類の整備  
支部規程、委員会規程、連盟本部規程、会長選出規程、業務執行理事・理事・委員長選出規程等の見直しを行う。
2. 連盟組織・活動のガバナンス強化
  - ・MVVSを実現するための委員会・支部活動の促進
  - ・コンプライアンスにかかる規程類の整備
  - ・委員会・支部活動の費用対効果（投資対効果）を検証する仕組みづくり
  - ・準会員、賛助会員の連盟活動への参画促進
3. 法令、関係省庁の通知から連盟方針をもとにガイドラインの策定や情報発信
4. 連盟のプレゼンスを高めるための活動（要望・陳情活動）
5. 委員会開催 毎月1回

【人づくり】担当業務執行理事 生内 雄二（会員増強委員会、青年部）

○会員増強委員会（委員長 北原 信輔）

1. 支部まわり・メンバー増強
2. 報告会
3. 会員勧誘事業（支部・青年部等との合同イベント12月開催予定）
4. 会員勧誘資料製作及びSNS管理

○青年部（部長 樋口 敬祐）

1. 青年部会開催 6月の定時総会後
2. 役員会の開催 今後の活動方針について
3. 勉強会等
4. 会員間の交流事業
5. 他の委員会及び支部セミナーへの参加など諸活動

【宿づくり】担当業務執行理事 内山 美樹（研修委員会、女性部）

○研修委員会（金子 祐子）

1. オンラインセミナーの開催（5月、6月、8月、9月、11月、12月）

①ホテル経営者セミナーの開催（令和6年2月）

②委員会の開催（2回）

○女性部（部長 内山 美樹）

1. 女性部会スタートアップミーティング開催

2. オンライン・トーク会（8回）

- ・毎月1回、働く女性の生の声を聞き、日々の問題点や悩み等会員で話し合いながら、解決の糸口やアドバイスをシェアする。
- ・宿泊業界が女性にとって働きやすい職場になるべく、働き方の構築を提案する。
- ・女性の特性を活かせる業界であることを実証できるよう、可能性を見出し、活躍できる人材を育てる。

3. 女性部会開催（3回）

4. 女性の働き方の構築に対するアンケート調査実施及び提案発表

〔支部〕

○北海道支部（支部長 不川 正三）

支部通常総会、支部報告会の開催	5月
情報交換会の開催	10月又は12月
経営者セミナー出席	
北海道旅館ホテル連絡協議会の事業に協力・参加	

○東北支部（支部長 星野 孝人）

支部通常事業報告会	5月
当間高原リゾートベルナティオ視察研修	6月
タウンミーティングin北上の開催（岩手県北上市）	11月

○関東支部（支部長 服部 公雄）

理事会の開催	4、7、9、11、1、3月
事業報告会	4月
研修部会	7、11月
11月詞交換会	1月

○甲信越支部（支部長 内ヶ嶋 雅功）

支部報告会	5月
-------	----

支部懇親会	12月
経営者セミナー出席	2月
北陸信越運輸局会議出席	

○中部支部（支部長 藤橋 由希子）

支部報告会	4月
役員会	4、11月
ホテル視察研修	
経営者セミナー出席	2月
中部運輸局、北陸信越運輸局等との協力	通年

○近畿支部（支部長 北原 信輔）

支部事業報告会及び理事会・事業報告会	4月
支部報告会	12月
意見交換会及び他団体との連携事業の実施	
大阪観光局/関西観光本部	毎月
国土交通省近畿運輸局	5、8、11、2月
サステナブルツーリズム推進委員会	7、12月
大阪学院大学ホスピタリティ経営学部と羽衣国際大学とコラボ企画	10月～3月
会員支援事業	
交流会（支部勉強会と同日開催を予定）	報告会実施時
SNSを活用した交流イベント	適時

○中国四国支部（支部長 沖 一泰）

支部報告会	4月
支部勉強会（情報交換・懇親会等）	9月
経営者セミナー出席	2月

○九州支部（支部長 相部 光伸）

支部理事会	4、2月
支部決算報告会	4月
九州運輸局 観光ビジョン推進九州ブロック戦略会議	5、9、3月
正会員入会活動	10月